

木もれ日とそよ風のオフィス

第一生命新大井事業所

株式会社 竹中工務店

本プロジェクトは、45年の歴史を持つ第一生命旧大井事業所の関連子会社を含む本社構機再編の一環として、事務所・配送センターを新築する事業である。一定時間集中した端末作業を行うワークフレイムにあって、自席で業務に集中する以外のすべての時間がリラックスに繋がり、さらに、優雅に活動した「スーパーイーコ」な建物をめざし、以下のことを計画的骨子とした。



1. 郊外型バックオフィスの新しいプロトタイプの創出

周辺のあまたの自然環境を最大活用し、ランドスケープと一緒にになった緑豊かな「集中トリック」のワーケプレイスを実現する。さらに、中庭やテラスなどの環境バッファーゾーンによって、気象条件を緩和しながら内外を連携させることで、あたかも公園の中で働いているかのようなアメニティの高い空間を創出する。

2. スーパーエコオフィスの実現

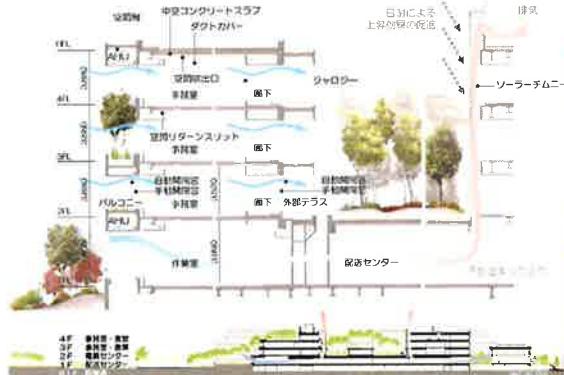
海から山への卓垂風を室内に取り込むための建物配置、雨天時にモチを開放しての通風を可能にする実行の深いバリエーションによる日射制御、ソーラーチューミニによる自然換気等、地域環境と連続する「徹底したバッジな自然利用の考え方」に立脚し、一般的なオフィスビルに対して1次エネルギー消費を半減とする。

3. ローコスト・ハイパフォーマンスの徹底

外装には高い耐久性のあるホワイトコンクリートPC版を採用。施工前から設計・作業所間で入念に打ち合わせを行い、綿密な施工構度、工事手順を検討しながら室内仕上げや設備機能を合理化し、ローコスト・ハイパフォーマンスな建築を実現する。

緑豊かな印象のスーパーイコオフィスの仕組み

相模原からの伯母風によるクロスベンチレーションを行なうために、東西に長い2つのボリュームを中央庭園へ傾けてライアウトしている。深いリビングコーナーに守られた外廊の開閉室は季節や天候によって自動的に角度が選ばれ、霧敵な換気状態を維持、年間約8ヶ月間熱交換を使用せずに空調している。上層階は外部リビングに内蔵され、どちらを見ても豊かな景色を見るアイロフトを実現しながら、アムステルダムセミキュリティ外のルートで出来る様配慮している。このアイロフトは外気冷却効率化するとともに、直進の高天井構造を利用して回転側面オーブンファンとして省電、サブファイアのとみして、オフアイスとしての快適性を確立する。更に中庭のない1階は、東の共用階段に設けられた日射遮蔽用のダブルスキンのソーラーブルーミニ効果によって無動力で外気冷却・吸収する換気効果を行なう。通勤動向から必要な駐車場はその分上面を敷下階に配置して露出し部底限と遮断間に配慮、外廊のセキュリティラインは段差と入り込みによって連続性を確保し、周囲の山の壁に沿って運動したランニングスケープすることで、町の中心性に新たな緑のификаを作り出した。



高い省エネルギー性能

2012年の年間一次エネルギー使用量は、669MJ/m²・年を達成。
旧大井事業所の2343MJ/m²・年に対し71%程度削減した。
CASBEEランク AEE類4.7 取得

CASBEE Sランク BEE値4.7 取得

